

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	7
事業名	子ども予防接種事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	2
政策	2 次世代を育むために	課名	子ども家庭課		
施策	2-1 子育て支援の充実	係名	子ども総合相談室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づき定期接種を実施する。 ・長期の入院等やむを得ない理由で、委託外医療機関で予防接種をした方に、委託単価相当額を助成する。 ・任意接種として生後6か月から未就学児に対する乳幼児インフルエンザ接種費用の一部を助成する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	BCG接種率		105.30%	94.50%	108.40%	%		95%
2	麻疹・風しん混合ワクチン接種率		93.00%	91.50%	95.20%	%		95%	
3									
4									
5									
				令和4年度 (決算)		令和5年度 (決算)		令和6年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				73,906		68,362		99,716	
財源内訳	直接事業費 A			70,180		64,636		95,990	
	うち一般財源			70,180		64,636		95,806	
人件費 (千円) B				3,726		3,726		3,726	
内訳	一般職員 (人・千円)			0.51	3,366	0.51	3,366	0.51	3,366
	臨時職員 (人・千円)			0.2	360	0.2	360	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	HPVワクチンについて、9価ワクチンも導入されるため、有効性等を今後も積極的に周知する。	③取組の課題	HPVワクチンについて有効性を積極的に周知し勧奨し、徐々に接種率は上昇しているが、キャッチアップ接種の期限が迫る中 (R7.3まで)、緩やかである。
②R5年度に実施した取り組み	HPVワクチン未接種の対象者に個別通知するとともに、広報やホームページ、子宮がん検診の勧奨通知や、全世帯へ送付する健康診査申込書にも同封し勧奨した。	④今後の改善計画	HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者は、令和6年度中が有効期限であるため、更に有効性について周知し勧奨を促す。 麻疹の流行に備え、ワクチン接種の有効性の周知、積極的な接種勧奨を行う